

男 女 共同参画

あすてっぷ



～誰もが自分らしく
輝くために～



啓発誌の愛称を募集したところ全国から応募があり、審査の結果、川崎市の赤羽和親さんの作品「あすてっぷ」に決まりました。

「あすてっぷ」の説明（応募のコメント）

「あす」は明日と英語で私たちを表すusを意味します。「ステップ」は英語で足どりや歩調、そして段階を表すstep、また、「ぷ」は別府の「府」です。
私たちの明日の未来の男女共同参画のまち別府を、自分らしく自分の足どりで生きて行こうという意味を込めて、また誰からも親しまれるようひらがなで表記しました。

浜田市長に聞く

今回、男女共同参画啓発誌の創刊にあたって、浜田市長にご自身の家庭生活を含めて、男女共同参画への思いを語っていただきました。

聞き手 市民編集委員

穴吹 貢
春田睦子
佐伯昌子
工藤千恵



ご家庭では

委員 市長のご家庭をちょっとのぞかせてください。家事や育児は、母親中心の家庭が多いのですが、市長

揮ってもらいたいと思っております。それから、市の審議会など委員を団体や会社に推薦してもらおう場合女性の参画をお願いしたりしてあります。強制はできませんが、市民や会社・団体にそういう意識を持っていただくこと、啓発することが私の役割だと思っています。

市役所では

委員 私は、フルタイムで仕事をして、子どもも二人います。子育てと、仕事は大変なんですけど、働く女性を代表してお聞きします。会社員として就職だけが重要だとか、すべてだとは思っていませんが、市役所は管理職に女性は1人だけらしいですね。「どうしてかな？」って思います。市は率先して男女共同参画を推進していかなければいけないと思うのですが、市長は今後どのようにしていきたいとお考えですか？

市長 おっしゃるとおりだと思います。別府市の管理職への昇任は、自らの手を挙げる応募者と推薦制がある、管理職への意識を確

はご家庭ではどうですか？

市長 私が一番大事にしているのは家族会議でしょうか。4人の子どもたちには男女、年長、年下にかかわらず差をつけず、おやつだって4等分してきました。妻とはどんな時でも、意見を出しあって話し合います。「かかあ天下」で尻に敷かれてみるとみせながら、私も信念は曲げずに通す。でも決してワンマンな父親ではないですよ。(笑)

委員 話し合いは大事なことですよね。

市長 5分でも10分でも顔をみて話すことは大事なことでだと思います。

委員 具体的に家事をされることはありますか？

市長 子どもが小さい頃は、風呂に入れるのが私の役割だったので、夜遅く帰っても必ず私がいれてました。仕事から時間が不規則なので、家事は妻に任せています。今も、私の健康の事を考えて毎日弁当をこしらえてくれてほんとに感謝して

います。「おいしかった。ありがとう。」って毎日ちゃんとお礼を言いますよ。

地域では

委員 次の質問ですが、別府市は「男女共同参画宣言都市」です。条例にも取り組んでいて、男女共同参画推進に積極的な取り組みをしていると思います。それでも、例えば、各地区に140人あまりの自治会長さんがいらっしゃると思いますが、その中で女性はひとり。ちよつとバランスが悪いと思います。市長はどう思いますか？

市長 そうですね、まだまだ女性はいろいろな場所で遠慮していることが多いと思います。自治会に関しては、「会長さんは女性にして」とか「男性はダメです」と言う事は私にはできません。最近は地域を代表するとか組織を統括するということでも敬遠され、なかなか後任が決まらない地区も少なくありません。特にご年配の女性は奥ゆかしいというか、遠慮しているようです。でも、こういうときこそ女性にもおおいに力を発

認するために面接をしています。女性職員には積極的に応募して欲しいと促しているのですが、この年齢層はまだ女性の割合が少なく、最近では女性の割合が増えています。採用試験ではペーパーテストも重要ですが、私は、人間性が大切だと考えていますから、3次試験まで行い面接を重視しています。今後は、管理職も女性の割合が増えてくると思っています。

委員 ただ、採用された後、女性と男性の与えられる仕事の内容に差はないのですか？それで結果的に管理職になれないとか？

市長 以前はそういうこともあったかもしれませんが、今はないと思っています。私は就任以来、ONSEN

ツリーズムについて、事あるごとに職員に話し、「意識を持つこと」「積極的に取り組むこと」を言ってきました。若い人達の中には、自分たちで定期的に勉強会をしたり職員の意識も随分変わってきていると思いま



委員 市長のそういう考えを、いろいろな機会や場所でお話していただくことが市民への啓発につながると思います。

委員 市役所から率先してやっていくよという姿勢を見せていた、ありがたいですね。

市長 ええ。今後も積極的に男女共同参画を推進していきたいと思っています。

別府市民の意識ってどうなの？

別府市は平成17年11月に市民1000人を対象に男女共同参画に関する意識調査を実施。5年前(平成12年調査)の調査と比較して私たちが気になる項目の結果をチェックしてみました！

■質問内容：「男は仕事、女は家庭」などと性別によって役割を固定する考え方がありますが、あなたはその考え方をどう思いますか？
(選択肢＝同感する、同感できない、どちらともいえない、分からない)

回答者が女性(数字は割合＝%)

	同感	同感できない	どちらともいえない	分からない
今回	8	48	42	2
前回	9	44	45	1

回答者が男性(数字は割合＝%)

	同感	同感できない	どちらともいえない	分からない
今回	12	48	38	2
前回	18	40	41	1

■質問内容：「子どもを育てる場合に気づかっていることはなんですか？」
男女別に回答(選択肢＝家事能力、職業能力、礼儀正しさ、行動力、協調性、たくましさ、やさしさ、自立心、忍耐力)

9つの選択肢から、気になったところをピックアップしてみたんだ。男の子にもっと家事能力を持ってほしいと思う人が増えたみたいだね。



穴吹委員



春田委員

へえー。男の子に、たくましさよりやさしさを求める傾向にあるようね！

同感できないと考える人の割合が男社とも増えているね！



工藤委員

そうね、男性の方の増え方が多いみたい。



佐伯委員

対象が男の子の場合(数字は割合＝%)

	やさしさ	たくましさ	自立心	職業能力	家事能力
今回	24	8	17	9	4
前回	12	13	14	8	1

対象が女の子の場合(数字は割合＝%)

	やさしさ	たくましさ	自立心	職業能力	家事能力
今回	31	3	11	5	10
前回	29	2	9	2	11

※表中の「今回」は平成17年度調査、「前回」は12年度調査。また割合の小数点以下は四捨五入しています。

まとめ
ふたつの項目に言えるのは、男女ともに人としてのやさしさを大切にしていること、そして、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮しお互いの特徴を認め合っ共生活していこうとする方向に変化しつつあることをアンケート調査から読み取れたような気がします。
市民編集委員一同

10月8日に開催された男女共同参画フォーラムでは、市内の小学・中学・高校生標語コンクール入選作品の表彰と、話題の映画「ベアテの贈りもの」が昼夜2回上映されました。

「ベアテの贈りもの」

憂いを含んだ大きな瞳。全ての人を魅了するかのような優しい微笑み。22歳のベアテ・シロタ・ゴードン。若き日のスウェーデン女優イングリッド・バーグマンかと見違ふかと思われるほどの聡明な美貌の女性。

「ベアテの贈りもの」の映画はそんなベアテが戦後すぐの日本で憲法草案作りに従事し、当時の日本ではまだ耳慣れなかった男女平等や人権の確立に尽力した映画である。2003年の暮れ、元労働省の赤松良子氏らが中心となって企画され、2005年6月まで神田神保町の「岩波ホール」で上映された。

ベアテは1923年、ウィンで活躍していたユダヤ系ピアニストである父と日本音楽教育の充実と発展のために来日。ベアテは5歳から15歳まで日本での生活を送る。

15歳の時アメリカのミルズカレッジに留学し正式に日本語を学ぶ。その後ニューヨークに出て「タイム誌」に勤務し、リサーチの仕事に就く。調査を行っても原稿を書くことは許されず記事にするのは男の仕事であった。このような現状の中で、ベアテは当時のアメリカ社会での女性差別の体験をしたのであった。当時第2次大戦の戦場となっていたヨーロッパから、多くのフェミニズムの実践者であった知識人がその戦火から逃れてアメリカに移住し、ベアテは彼女たちからフェミニズムを学んだ。同時にベアテは日本語の翻訳の仕事にも力を入れた。

1945年8月戦争は終わり、ベアテはその日本語力を評価され同年12月に軍属として最初に来日した女性であった。その後1946年12月に日本国憲法草案作成を命じられ、「人権条項」を担当。ベアテが女性だったことから「女性の権利」を引き受けた。ベアテは戦前の十年間を日本で生活していたので、日本女性がいかに社会や男性から虐げられ、抑圧されていたかを知っていた。それだけにベアテは、「女性の権利条項」に対しての情熱は深いものがあつた。



また、女性が真の幸福を得るには教育の充実も欠かせないものであることも実感し「女性の権利」と平行して、「教育を受ける権利」も担当した。このようなベアテの思いと行動から、「男女平等」を中心とした憲法24条、「家庭生活における個人の尊厳と両性の平等」は誕生したのである。

ベアテは憲法施行後、その施行を見届けてアメリカに帰国。1952年日本の女性運動第一人者として活躍した市川房枝氏の滞

米時には通訳を勤めたり、家庭では夫婦共に男女平等を実践し、その仲睦まじさは、周囲の人たちに男女平等で生きることはすばらしいことであることを実感させた。その後、ベアテは若き日の自らがたずさわった「女性の権利」の条項が、根付いているかが気になり、今日でも来日しては、講演活動を行いつつ「平等条項」の見守りをしている。

日本国憲法が施行され半世紀以上が経過、まだまだ不平等が多く存在している。時折男性たちの「もう十分だろう」とか「これ以上力を与えたら大変」と冗談ともつかぬ声に、女性たちはこの先の男女共同参画の進路の舵取りに途惑いを感じている。そのような声を知りつつも、ベアテ・シロタ・ゴードンは、平和で安心して生きる、その基本に根ざすには「男女平等」の理念が必要、それにはさらなる女性の地位向上と平等を目指して欲しいとの熱いメッセージを私たちに送り続けている。少し難しい映画であったが人がより人間らしく生きてゆくための基本を形として示してくれたのが「ベアテの贈りもの」の映画である。

感想：春田睦子

平成17年度男女共同参画標語コンクール入選作品

小学生1年生～3年生部門

最優秀	男も女も おとも子どもも おうちのしごとは みんなですよ	緑丘小2年 佐原由香
入選	おともだち おとも おんなも みんななかよし うれしいな	野口小1年 佐藤愛藍
	なかよく きょう力 楽しいね	南立石小3年 松尾海咲
	なかよくね 男の子 女の子で 遊ぼうよ	西小3年 広岡瑞穂

中学生部門

最優秀	男女とも「その人らしさ」を大切に	山の手小1年 松田佳恵
入選	お互いが 個性を伸ばす パートナー	鶴見台中1年 竹田真帆
	男女とは 尊重し合う パートナー	山の手小3年 関屋茜
	男女とで 共生共同 できる街	鶴見台中2年 平地泰士

小学生4年生～6年生部門

最優秀	男女みな 支え合って 生きている	朝日小6年 溝部 颯
入選	お父さん 今日もせんたく スーパーマン	境川小5年 渡辺 瑠香
	手をつなぎ 男女でつくろう 心の輪	青山小6年 加藤 重衣
	自分でも できる仕事は きつとある	西小5年 下森 文太

高校生部門

最優秀	この別府 性別こえて 生きる場所	羽室台1年 大橋みゆき
入選	認め合い 個性が光る 参画社会	鶴見丘2年 宮本 菜摘
	助けあおう 男女の力寄せ合って 希望の持てる よい社会	溝部学園1年 甲斐 裕子
	湯のまちは 男女平等の 町づくり	羽室台3年 廣末 竜太